「第4回　国分寺都市計画道路3･4･11号線周辺まちづくりに関する懇談会」のまとめ

国分寺市都市建設部まちづくり推進課
平成 26 年 10 月

第４回懇談会は、第３回懇談会にて頂いたご意見を踏まえ作成した国分寺都市計画道路３･４･１１号線周辺まちづくりの方向性（案）をもとに意見交換を行いました。参加者の方から寄せられた主なご意見をまとめました。

【開催概要】　懇談会は同一の内容で２会場にて開催しました。

	1 回目	2回目
開催日時	平成 26 年８月 28 日（木）19:00～21:00	平成 26 年8月 30 日（土）10:00～12:00
開催場所	本町・南町地域センター	国分寺市もとまち公民館
参加者数	７名	16 名

全体に対する意見

●まちづくり全般について

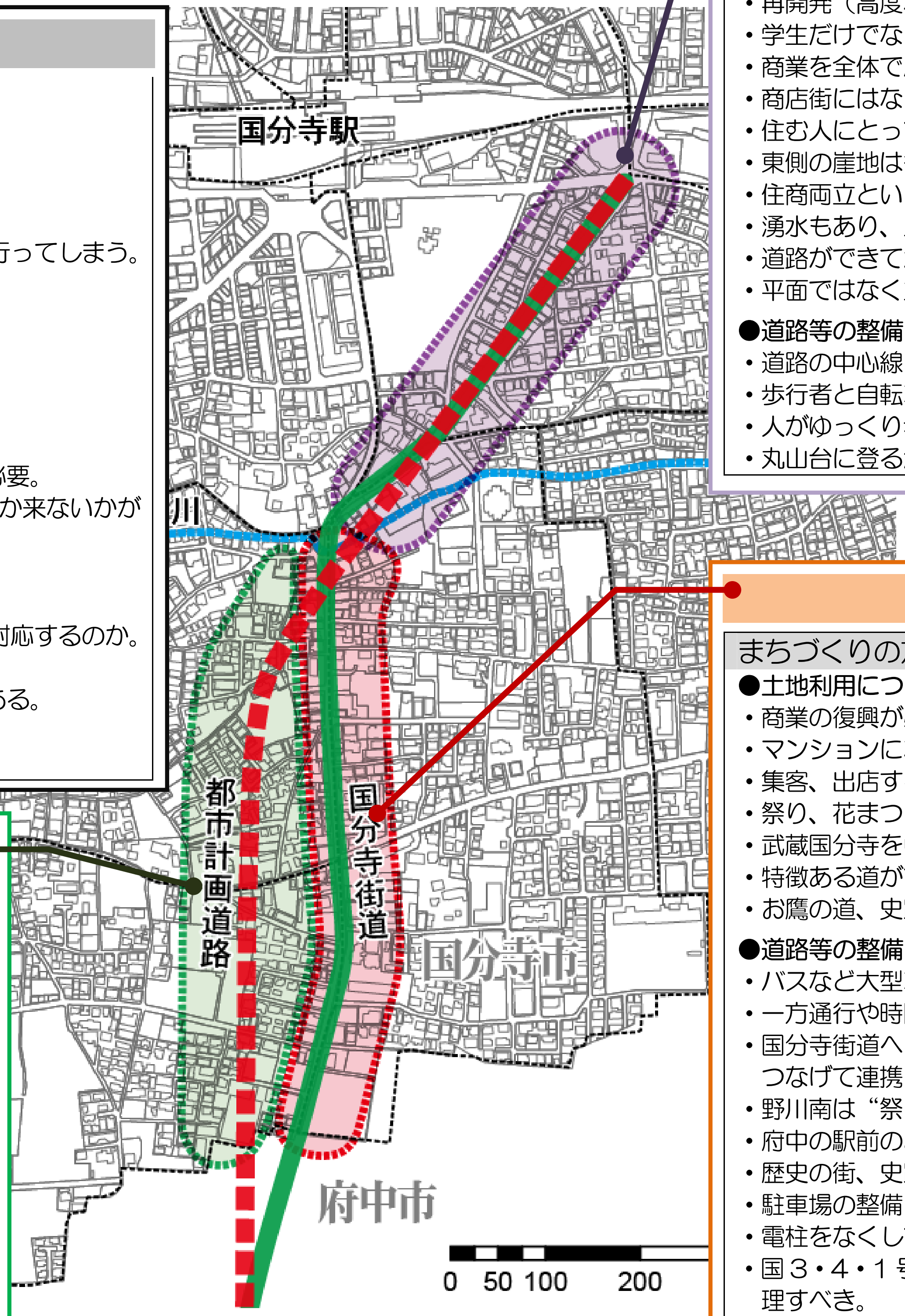
- 駅前のバス路線の再編が必要である。
- 国分寺駅北口開発とも連携して街道に人の流れをつくるべき。
- 道路で挟まれた部分は桜、松、橋を活かして公園化すべき。
- 一里塚の川が合流するところに歴史ある不動橋、桜は残すべき。
- エリア全体的に考えると、商業をやっても儲かるイメージが持てない。みんな駅へ行ってしまう。
- 物販よりも、飲食を呼び込んでもらいたい。
- 不動橋のところから街道のほうへ人を呼び込む取り組みが必要である。
- 道路整備や規制緩和しても、購買力が増えないと商業は復興しない。
- ホタルがいるまちをもっと押し出してほしい。
- 史跡のほうへ回るルートは観光とも連携していきたい。

●懇談会の進め方等について

- 都市計画の部署だけでなく、経済・商業関係、観光関係の部署との連携、議論も必要。
- 道路や用地買収の話だけでなく、商業をやっている人にとっては購買力、人が来るか来ないかが重要である。
- 道路の説明会はいつ行われるのか。都と市の仕事の棲み分けがわからず混乱する。
- 道路の幅員など、イメージがもっとないとまちづくりを考えられない。
- 国３・４・11 号線で土地を少し取られ、変な形で残る住民が沢山いる。市はどう対応するのか。

●まちづくりの方向性（案）の内容について

- 素案の内容については、概ね賛同できるが、各エリアの個別事項について意見がある。
- 色々なものを盛り込みすぎているので、少し整理が必要である。



国分寺街道・国 3･4･11 号線　重複区間エリア

まちづくりの方向性・主な取組みの方向に関する意見

●土地利用について

- 当エリアは３つくらいに分けれられる。それぞれ意見が違うのではないか。
- 再開発（高度利用）のエリアにすべき。
- 学生だけでなく、住民もターゲットとした店舗形成が必要である。
- 商業を全体で展開するのは難しい。北側をメインにすべき。
- 商店街にはならず、賑わい形成は難しいのではないか。住環境も考えるべき。
- 住む人にとっては静かに暮らせる街にしてほしい。
- 東側の崖地は行政で買い取り、何か活用を考えるべき。
- 住商両立というより住居の方がメインではないか。
- 湧水もあり、土が柔らかく地盤レベルが低いため、使いづらいのではないか。
- 道路ができてから少しの間、様子見をする必要があるのではないか。
- 平面ではなく立体的に考える必要があるのでは。

●道路等の整備について

- 道路の中心線を少しずらして計画するのはどうか。
- 歩行者と自転車用の道路づくり。
- 人がゆっくり歩ける空間づくりを最優先し、余裕があれば植栽を考えるべき。
- 丸山台に登る急な道を改良すべき。

国分寺街道区間エリア

まちづくりの方向性・主な取組みの方向に関する意見

●土地利用について

- 商業の復興が必要である。買回り品だけではだめである。
- マンションになっても、低層階をうまく店舗化する必要がある。
- 集客、出店するには道路とは別に何かがないと人は集まらない。
- 祭り、花まつりを復活させてはどうか。
- 武蔵国分寺を中心に捉えたまちづくりを考えるべき。
- 特徴ある道ができれば、店も集まるのではないか。
- お鷹の道、史跡国分寺跡も活用して、外の人も呼べるような商店街とすべき。

●道路等の整備について

- バスなど大型車の通行規制は良い。
- 一方通行や時間帯規制についても検討すべき。但し、意見の調整が必要である。
- 国分寺街道へはぶんバスを通したい。史跡の方へ回るルートとし、街道と史跡をつなげて連携を図るべき。
- 野川南は“祭り道”としてはどうか。
- 府中の駅前のような緑豊かな道にすべき。
- 歴史の街、史跡の街というイメージを活かした道づくりを行うべき。
- 駐車場の整備を進めていくべき。
- 電柱をなくして歩行者がゆっくり歩けるようにすべき。
- 国３・４・１号線、国３・４・２号線について、国３・４・11 号線との関連を整理すべき。

国 3･4･11 号線区間エリア

まちづくりの方向性・主な取組みの方向に関する意見

●土地利用について

- 国分寺街道は買い物中心、国３・４・11 号線は通行のための道とするなど、国分寺街道との棲み分けを考えるべき。
- 中層住宅、ある程度商業施設の受け入れるべき。
- 西側の住環境を守るためにも、規制緩和の範囲は沿道 20m ほどに留めるべき。
- 歴史的雰囲気は残すべき。マンションが多く建つと国分寺の歴史風土を損なう。
- 近隣商業地域にするのは反対である。商業地とすべきではない。
- 用途地域の変更を考える。
- 公害問題（延焼、騒音、空気汚染等）等のデメリットを整理し、対応すべき。
- 高さ制限より、防火地域で構造的に規制をかけるべき。

●道路等の整備について

- ゆったり歩け、安全に安心して通れる歩道の整備をすべき。
- 三鷹、府中、玉川上水、根岸病院のあたりのように緑を多くすべき。
- 国分寺は植木の街である。緑（街路樹）の整備、樹種の検討も必要である。
- 植栽等の緑はいいが、維持管理が大変になることも留意すべき。